



こうか

# 市議会 だより

city  
assembly  
report

Vol. 20

### おもな内容

- 常任委員会・特別委員会  
委員長座談会 — 2~7
- 議案審議 — 8
- 議長・副議長のあいさつ — 9
- 平成20年度決算 — 10~11
- 代表質問・目次 — 12
- 代表質問 — 13~15
- 一般質問・目次 — 16
- 一般質問 — 17~20
- 政務調査費・行政組合議会 — 21
- 30人の議員「私の4年間」 — 22~23
- くつろぎこうか [シリーズVol.16] — 24  
甲賀の味シリーズ⑧



甲賀市議会の常任委員会・特別委員会の委員長に集まっていただき、この4年間の取り組みの前進面、また今後の市政や議会に生かすべき課題等について、語っていただきました。

(司会は、広報特別委員会委員長)



## 座談会

議会運営委員会	委員長 岩田孝之
総務常任委員会	委員長 福西義幸
民生常任委員会	委員長 中西弥兵衛
文教常任委員会	委員長 辻 金雄
産業建設常任委員会	委員長 河合定郎

**山岡** きょうは委員長のみなさんにお集まりいただいて、この4年間取り組んできた内容、また今後の課題等を中心にお話いただきしたいと思います。まず最初に、議会運営委員会の岩田委員長からお願いします。



岩田孝之議員

**岩田** 平成18年9月議会から、議会本会議をインターネットで世界に発信するという画期的な取り組みをさせていただき、全国的にも注目され、視察にも来られています。また市民生活に非常に関係がある補正予算等については、委員会に付託して議論するなど、民主的な議会運営に努力してきました。

**山岡** ありがとうございます。それでは総務常任委員会の福西委員長お願いします。

**福西** 前期の委員会では、合併して一年ということで、市の総合計画の進捗状況、国民保護法にもとづく条例の制定、また地域情報化の基盤整備など、詰めた議論をしてきました。後期はこうした継続的な審査に加えて、市の財政が厳しいなかですから、特に「遊休資産」を活用するために「土地カルテ」の作成。現地確認も行ってきました。さらに不良債権、すなわち税などの未収なども大きな課題として議論してきました。

**山岡** ありがとうございます。続きまして民生

常任委員会の中西委員長、お願いします。

**中西** ゆりかごから墓場まで、といわれるように、非常に幅広い分野を担当していますから課題は多いわけです。ひとつは水口市民病院。平成20年度から、水口医療センターとして再スタートを切りましたが、この間、医師確保の問題や経営難などの問題を議論してきました。老人保健施設を併設し安心できる医療体制が望まれます。

もうひとつは、後期高齢者医療制度。なぜ75歳以上なのか。全国的に問題になり、甲賀市議会でも多数の議論があり、その後、紆余曲折で修正を加えながら現在に至っています。できるだけ市民の負担がかからないような方策が必要です。さらに福祉医療費の助成。乳幼児を対象に、入院は義務教育卒業まで全額助成というのは、かなり突っ込んだ画期的な試みで、他市から「甲賀市にみならえ」と、拡充を検討されているというふうに聞いています。また、これま



中西弥兵衛議員

で文部科学省の幼稚園、厚生労働省の保育園、と分けてきたわけですが、甲賀市は平成20年度から「こども未来課」ができ、幼保一元化。組織も統一して、少子化対策と子育て支援策に取り組んでいます。介護保険も、地域包括支援センターの相談業務、特別養護老人ホームは満床

## 委員長座談会



# 委員長

# 4年間の 議会活動

### 参加者

- |               |     |      |
|---------------|-----|------|
| 交通対策特別委員会     | 委員長 | 安井直明 |
| 新名神地域振興特別委員会  | 委員長 | 辻 重治 |
| 環境・廃棄物対策特別委員会 | 委員長 | 小松正人 |
| 地域情報対策特別委員会   | 委員長 | 友廣 勇 |
| 議会改革特別委員会     | 委員長 | 村山庄衛 |
| 広報特別委員会       | 委員長 | 山岡光広 |

# 前進面と今後の課題

状態、在宅介護も含めて、課題が多いわけですが。さらに障害者自立支援法。障がい者の一部負担は、今年度から所得制限付きで一部負担軽減されました。とにかく幅広い分野で課題が多いわけです。

**山岡** ありがとうございます。それでは文教常任委員会の辻委員長、お願いします。

**辻** 教育基本法の改正に伴い教育3法が改正されました。市教育委員会の権限も強化され、教育委員会、教育委員会事務局、市長部局、そして議会。それぞれどういう役割分担をしながら運営していくのが、課題です。先ほども民生委員長から紹介されましたが「こども未来課」



辻 金雄議員

ができ、甲賀市の職員の3分の2が、教育委員会の所管になったということで、急に文教常任委員会のテリトリーが広がって戸惑っているところもあるわけですが、学校規模の適正化の答申も出て、今後さらに煮詰める課題は多いと思っています。

**山岡** ありがとうございます。最後に産業建設常任委員会の河合委員長、お願いします。



河合定郎議員

**河合** この4年間、特に水道事業にかかわる問題が山積。水口を中心とした県用水の油臭事件では、1万3500世帯、4万7000人に断水のご迷惑をおかけし、危機管理の重大性を痛感しました。信楽地域の問題では、公共下水道事業の受益者負担で議論。さらに甲南地域では、懸案であった希望ヶ丘地域の上下水道施設が21年から市に移管。合意した調停による速やかな移行にむけて、委員会としても議論を重ねてきました。また農業面では、米価の低迷や食の安全問題などいろいろ騒がれましたが、甲賀市においては獣害対策も大きな問題で、専門部署も設置され、他市に比べても先進的な取り組みがされていることは評価です。

**山岡** ありがとうございます。いま各常任委員長からご報告いただきました。今度は、特別の目標、テーマをもって設置された特別委員会の報告を。まず最初に、交通対策特別委員会の安井委員長、よろしくお願いします。

**安井** 甲賀市は、482平方キロという広い範囲のなかで、市民の足をどう守っていくの

## 4年間の議会活動、前進面と今後の課題



安井直明議員

か、ここが課題です。従前、JRがバスを走らせていましたが、利用客の減少、赤字経営などを理由に廃止。さらに旧町でのコミュニティバスは、市になって統一して運行されています。信楽高原鉄道も利用客が年々減少。さらなる利用客の拡大が求められています。草津線複線化の課題もあります。新名神ができ、土山SAから高速バスの乗り入れが実現し、喜ばれていきます。信楽と大津を結ぶ帝産バスも赤字を理由に継続がむずかしくなっていますが、存続に向けて頑張っています。「デマンドバス」とか「乗合タクシー」など他市の先進的な取り組みの研修も行い、全委員からレポートも出していただいて、議論しているところです。

**山岡** ありがとうございます。今もお話がありました。新名神が開通し、しかも市内に3つのインターができました。全国でも珍しい街だと思えますが、新名神地域振興特別委員会の辻委員長、お願いします。

**辻** そうなんです。前期は、第二名神特別委員会ということで、とにかく道路の早期開通にむけて取り組んできました。開通後は、高速道路を生かした街づくり、地域振興をテーマに、甲賀の観光、地域開発、企業立地等も含めて、検討をすすめています。企業立地については、

4年間で27社が甲賀市で操業。厳しい経済情勢という側面はありますが、新しく5つの地域を選び、さらに誘致を検討しているところ。甲賀市の観光資源は、いろいろとあるわけですが、新名神を利用してこられた方々が、甲賀の良さをどのように知っていただくか、そして再び訪れていただくか、ここが課題です。委員会



辻 重治議員

では、観光企業の東京本社市町村担当を招き、今後の観光のあり方、地域振興のあり方の研修を行ったところです。交通対策でもお話しがありがとうございましたように、各委員がレポートを提出していただき、お互い学び合って、議論しているところです。

**山岡** ありがとうございます。続きまして、環境・廃棄物対策特別委員会の小松委員長お願いします。

**小松** 産業活動や日常生活から発生したゴミや廃棄物が適正に処理され、リサイクル化され、安全・快適な環境空間を再構築することは、行政として非常に大事なことです。こうした視点から、県環境事業公社が甲賀町に開設した「クリーンセンター滋賀」については、造成中、あるいは操業開始後も、監視・調査を継続して行い、「遮水シートの破損は心配ないか」、「下流への雨水対策は安全か」、「市独自の監視委員会

が必要ではないか」など、繰り返し議論を行い、議長に報告書としてまとめて提出しました。また市内の産業廃棄物中間処理施設なども現地を調査、廃プラスチック利用のエコ商品の開発企業などの視察も行ったところです。

**山岡** ありがとうございます。次に地域情報対策特別委員会の友廣委員長、お願いします。

**友廣** 先ほど総務常任委員長の報告にありましたように、当初は、総務で議論してきました。その後、県内で2番目に広い甲賀市で、地域情報を共有していくためには、基盤整備が必要だということで、地域情報化推進特別委員会が設置され1年間議論。その後、さらに具体化すべきということで、当委員会が設置され、この間、調査研究をすすめてきました。市の基本的方向は、市内事業者を核とした基盤整備ということでしたが、やはりちょっと難しさがあるということ。当委員会では、大手のCATV事業者や通信事業者を呼び、検討を重ね、当委員会としては、基盤整備については、大手とも協議をし、推進する方がいいのではないか、という提案を市長に行ったところです。先日も、その後の取り組みを調査するための委員会を開きましたが、どうもスピード感が感じられないのが実感です。

**山岡** ありがとうございます。それでは続きまして、議会改革特別委員会の村山委員長お願いします。

**村山** 昨年3月に設置された一番新しい委員会ですが、この間、集中した会議を行い、具体化すべきものはすぐ実行するという立場で取り

## 委員長座談会



村山庄衛議員

組んできました。いろいろテーマを決めて、その到達を調べてみると、甲賀市の場合、例えばインターネットによる議会中継とか、議員手づくりの議会広報…。他市と比べても先進的な取り組みがあるわけです。議会改革特別委員会では、具現化する目標を決めて取り組んできました。なかでも一般質問における「一問一答」方式。今年3月議会から実施したわけですが、非常にわかりやすい質問と回答になったと。議員も、執行部もお互いに資質を高める、議会活性化の大きな役割を發揮していると思います。また費用弁償。ある会派から提案があつて、検討をしてきたわけですが、今年4月から、1日2600円を、実費交通費相当額にあらためるということになりました。それから一番大きな問題は、議員定数問題。在任特例の80名から、現在の30名に、そして10月の市議選からは27名に。いろいろと議論はありましたが、近隣の都市、人口比、面積比などを勘案して、結論を出したもので、委員長としては、間違いのない判断だったと考えています。

**山岡** ありがとうございます。いま村山委員長からお褒めの言葉をいただきましたが、議会広報特別委員会からも少し活動を紹介させていただきます。ご承知のように、年4回の定例議会

後に、「議会だより」を発行してきました。全国的に見ても、議員自らが編集をする。取材もする。そして校正、発行にまで責任をもつという「議会だより」は、非常に珍しく、委員8人力をあわせて取り組んできましたから、全国各地から、研修に来られる。非常にありがたい話です。毎日新聞社主催の近畿広報コンクールで「優良賞」もいただきました。「議会だより」のなかで工夫しているのは、議会というのはなかなか市民のみなさんにわかりにくいところだけに、できるだけわかりやすいことばで。代表質問や一般質問だけでなく、むしろ、常任委員会や特別委員会で、日々議論する、研修する、そういう大事な活動を紹介することにも力を入れてきました。

さて、これで一巡し報告いただいたわけですが、すでに踏み込んでいただいた方もおられますが、今後の課題を中心に、発言していただけないでしょうか。まず最初に、2011年7月24日、地上デジタルへの全面移行ということもあるわけですが、情報基盤の整備について。



友廣 勇議員

**友廣** 専門用語で言いますと、F T T H。この普及率は、滋賀県でも全国でも甲賀市はトップクラス。もうすでに大手通信事業者が市内の97%近くを整備している。行政という視点から

みると、一番取り組まなければならないのは、行政ニュースの一元化、市民の情報格差の是正。もつと積極的な取り組みが必要です。いま市民生活の情報化というのがすすんでいて、行政からの情報化が非常に遅れている。いまここに大きなギャップが生まれているわけで、早急に基盤整備をすすめる必要はないかと、思うんです。**山岡** 交通網が発達すればさらに情報の交流も多くなるわけですね。その点でどうです。落ち込んでいる地域経済を、新名神を生かして、どう立て直すのか、非常に大きな課題ですが。

**辻** まずは観光協会の合併。そして続いては観光計画の早期策定。それに基づいて一步一步すすんでいくということが一番の近道ではないかと…。ただ、実情をしつかり見据えて、計画策定・具体化しないといけないと思います。

**山岡** 共通する部分はあると思いますが、交通対策はどうでしょう。

**安井** 財政が厳しい時だからこそ、いかに効率的に、子どもと高齢者が安心して乗れる、そういう便利なコミバスとしていくか。先ほども少し紹介しましたが、「デマンドバス」や「乗合タクシー」。乗る人が少ない場合は小型化するとか、予約制のタクシーにするとか、そういう努力が今後さらに求められると思います。

**山岡** 環境対策も課題が山積しています。甲賀は、自然が豊かな地域。それが宝なんです。環境対策は…。

**小松** クリーンセンター滋賀は、引き続き、しっかりと監視をしていかなければなりません。特に、廃棄物運搬の車両が国道を走る。はつきり

## 4年間の議会活動、前進面と今後の課題

とわかるようにマグネット板の装着が必要。また搬入量が当初計画と比べて減少しているわけですから、施設の償還が県民の新たな負担とならないように。また廃棄物の中間処理場についても、不安なイメージはもっていましたが、実際にやってみるときちんと処理されているところが多くありました。粉じん対策、汚水処理、空気浄化など、施設の改善策も必要です。今後は、不法投棄の廃棄物対策、散在性ゴミ対策、



小松正人議員

さらに煙草のポイ捨てなど環境監視員さんの仕事が必要で、増員すべきであると、こういう話も出ています。市民と協働して、環境・廃棄物対策をしっかりとやっていかなければならないと思っています。

**山岡** ありがとうございます。続いて常任委員会からの発言を。まず最初に、産業建設常任委員会はどうぞでしょう。

**河合** 要望が多いのが道路。しかしこういう財政状況の中では、新名神ICへのアクセス道路、その部分が非常に重要です。アクションプログラムがありますが、重要度について精査する時

期ではないか、それが一点。それから公共施設の統廃合。ある意味、勇気ある決断、そのなかで市民からの政策提案を受け、それをどういう形で処理システムに乗せていくのか。意識改革も必要ではないかと。そんな思いです。

**山岡** 教育委員会は職員の3分の2を抱え、施設も非常に多くあるわけですが。

**辻** 教育は国の基本といわれていますが、最近、国がガサツになってきているといわれています。もっと落ち着いた、ゆったりとした社会を作る。そのためには教育が大切であると。レベルの高い教育を与えるというためには、議会として、どのようなことをしていかなければならないのか、ここが重要だと思います。

**山岡** 民生常任委員会はどうぞでしょう。

**中西** 少子高齢化が一層すすむなかで、老人介護、福祉の問題、子育て支援、これらは避けて通れない課題です。市財政が厳しいなかでも、積極的な対応をしていかなければならない。このことは当然だと思います。もうひとつは、環境基本計画。世界的に叫ばれているCO<sub>2</sub>の削減。間伐材の活用、廃プラスチックの資源リサイクル化。もうひとつは公立甲賀病院や水口医療センター、信楽中央病院は、地域医療の重要な医療機関です。そこでの医師確保は共通する課題。**山岡** 期待せしました。総務委員長、どうぞ。



福西義幸議員

**福西** 自治体の主たる業務は何か。それは市民のいのちとくらしを守ることなんですね。委員会として、財政が厳しいなか、この大事な点をどうしていくのか、最大の課題です。日々の財務状況は、監査という立場で、チェックをしていただいています。総務としてもっと取り組むべきです。そのひとつに、甲賀市の資産査定。市の将来のためにどれだけの投資が可能か、つかむべきです。また委員間の議論ももっと必要です。執行部に対して、質問して質しているだけが委員会じゃないといわれましたが、もっともなことだと再度認識しています。

**山岡** 議会の広報としても、「より見やすい紙面」「より分かりやすい情報」の提供が課題だと思います。しかし、そのためには、「議会だより」のレイアウトや表紙の写真を工夫するだけではなくて、むしろ議会の中身、議会の内容、そのものが活性化されなかったら、「議会だより」はいいものができないと、私自身は思っています。そこで、議会改革の今後について、どうでしょう。

**村山** 委員会設置後、15回ほど開催しています。やはり大きなテーマとしては、「開かれた議会」「議論する議会」。いま総務委員長からもお話がありました。「議員の衆知を集める議会」。そう

## 市民のくらしを守る市政へ

## 委員長座談会

いったことが議会の活性化につながる。これを推進して、議員の資質を高めていかないといかんなど。そのためには、議員の憲法ともいうべき、「議会基本条例」の制定に向けて、議論していきたいと考えています。

**山岡** なるほど。日常的な議会運営のかなめになるのが、議会運営委員会ですが。

**岩田** 地方分権なり、地方財政危機のなかで、地方議会、地方議員の役割が非常に重要になっているわけです。そういう意味で言いますと、市民にとって議会というのは、第一義だと。一番重要な役割を担っている。それは議員が市民の目線にたつて市民の代表として意見を述べ、その場を保障していくということとは非常に大事なことであるわけです。



山岡光広議員

**山岡** 地方分権の時代、市財政が厳しいなかではありますが、市民のくらしをどう守っていくのか、議会と議員のあり方が問われていると、

## 欠かせない議会の活性化

そういうお話であったと思います。しかし、なかなかそうはいっても、国の政治、県の政治に流されてしまう部分があるように思うんですが、最後にどなたからでも自由にご発言を。

**安井** いまも言われていますように、地方自治といえども、国の政治、県の制度によって左右されるということが非常に多いわけです。そういう点では、国が決めたことだから仕方がない、県が決めたことだからというスタンスではなくて、地方自治、市民の代表としての議会が、国や県にもおおいにモノをいう、その大元を変えていくことも大いにやっていかななくてはならないと思っています。

**友廣** 一番欠けているのは情報の公開。行政はできるだけ情報を公開すべきです。しかもわかりやすいことばで。『議会だより』も発行していただいています。例えば、甲賀市のホームページのなかに市議会のページを開設するなどの工夫が必要。われわれ一生懸命、議会の中でやっていますが、市民の中には知られていません。市民からみれば、「情報公開」のレベルではな

いんじゃないかと。実質的にレベルを引き上げないと。これが課題だと思います。

**河合** 市民が議会にもっと関心をもっていたらいい。傍聴者があまりにも少ないということを感じました。これは、我々にも責任がある。議会によっては、コンサートをしたり、子ども向けの議会をしたり、工夫しています。もっと知恵を出す必要があります。

**岩田** この4年間、一番思うのは、二元代表制のなかで、議会の役割で言うと、政策立案が、法案が出せなかった。ここは非常に残念です。執行部に対して、政策提案できる。議員立法が提案できる。そうした能力、議員が資質を高めることも、今後は、力を入れるべきと思います。  
**山岡** なるほど。そのためには議会事務局の充実も非常に大事ですね。それでは長時間にわたって、さまざまな角度からご発言、ご報告をいただきました。もちろん言い尽くせなかった方が多いわけですが、今後の甲賀市政に生かせるよう、新しい議会に引き継ぎたいと思います。本日は、どうもありがとうございました。

## 議員の資質向上も課題

# 議会で審議したもの

人事・条例・予算・決算・意見書・請願 ほか

## 決算認定、補正予算、条例改正など審議

9月定例会市議会は8月24日から9月18日まで開かれました。平成20年度一般会計をはじめ、特別会計・企業会計の決算認定。決算確定による平成21年度の補正予算、条例の一部改正や議員提案による意見書案などが審議されました。審議結果は次の通り。

### 決算認定

- ◆一般会計
  - 反対討論⇨安井直明
  - 賛成討論⇨藤井克宏
  - (賛成多数にて認定)
- ◆国民健康保険特別会計
  - 反対討論⇨山岡光広
  - 賛成討論⇨土山定信
  - (賛成多数にて認定)
- ◆後期高齢者医療特別会計
  - 反対討論⇨山岡光広
  - 賛成討論⇨鵜飼勲
- ◆介護保険特別会計
  - 反対討論⇨山岡光広
  - 賛成討論⇨中島茂
  - (賛成多数にて認定)
- ◆公共下水道事業特別会計
  - 賛成討論⇨中島茂
  - (賛成多数にて認定)
- ◆農業集落排水事業特別会計
- ◆土地取得事業特別会計
- ◆野洲川基幹水利施設管理事業特別会計
- ◆鉄道経営安定対策基金特別会計
- ◆鉄道施設整備基金特別会計
- ◆国民健康保険診療所特別会計
  - 賛成討論⇨野田卓治
  - (賛成多数にて認定)
- ◆水道事業会計
  - 反対討論⇨小松正人
  - 賛成討論⇨野田卓治
  - (賛成多数にて認定)
- ◆国民健康保険診療所特別会計
  - 賛成討論⇨野田卓治
  - (賛成多数にて認定)
- ◆浄化槽管理事業特別会計
  - 賛成討論⇨野田卓治
  - (賛成多数にて認定)
- ◆病院事業会計
  - 賛成討論⇨野田卓治
  - (賛成多数にて認定)
- ◆病院事業会計
  - 賛成討論⇨野田卓治
  - (賛成多数にて認定)
- ◆補正予算
  - 賛成討論⇨野田卓治
  - (賛成多数にて認定)
- ◆一般会計(第3号)決算による繰越金の確定、法普通交付税の確定、法

## 7月臨時議会開かれる

7月27日、臨時会が開かれました。信楽高原鉄道株式会社、財団法人土山町緑のふるさと振興会、財団法人甲賀創建文化振興事業団、財団法人あいの土山文化体育振興会の4団体の経営状況が報告され、承認されました。また一般会計をはじめ、公共下水道事業会計、農業集落排水事業特別会計、浄化槽管理事業会計の補正予算を全員賛成で可決しました。

計(第2号)の一部改正

◆水道事業特別会計(第1号)

(以上、12件、全員賛成にて可決)

### 人事

◆人権擁護委員の推薦につき意見を求める  
伊室信子(甲南町寺庄) 現

(全員賛成にて同意)

### 条例の制定

◆多世代交流センター条例 (全員賛成にて可決)

### 条例改正

◆職員の特種勤務手当に関する条例の一部改正  
◆税条例の一部改正  
◆国民健康保険税条例の一部改正

◆廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

◆児童クラブ条例の一部改正

◆国民健康保険条例の一部改正

◆信楽伝統産業会館条例

◆後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議

◆市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少に伴い、規約の変更に関する協議

◆財産の処分(鈴鹿自然教室の市有財産である一部を大河原区に無償譲渡)

◆反訴の提起(甲南町深川池の尻の土地の使用料相当の損害金の支払いを求める)

◆市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少に伴い、規約の変更に関する協議

◆後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議

(以上、7件、全員賛成にて可決)

◆農村環境改善センター条例の一部改正

反対討論⇨安井直明

◆開発センター条例の一部改正

反対討論⇨安井直明

◆林業施設条例の一部改正

反対討論⇨安井直明

(以上、3件、賛成多数にて可決)

### 議決

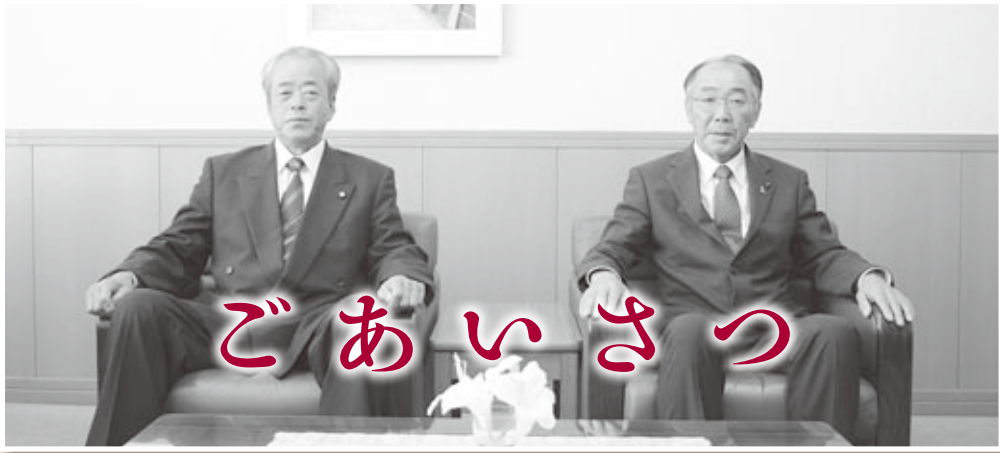
◆財産の処分(鈴鹿自然教室の市有財産である一部を大河原区に無償譲渡)

◆反訴の提起(甲南町深川池の尻の土地の使用料相当の損害金の支払いを求める)

◆市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少に伴い、規約の変更に関する協議

◆後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議





## 議長 服部 治男

第2期甲賀市議会議員の任期満了を迎えることとなりました。新生甲賀市のステップの段階を担った30名の議員は、市の将来の限りなき発展と市民の幸せを願い、それぞれの立場から提言し、議論を交わし、妥当な判断に基づき議決をいただきました。

しかしながら、国の三位一体の改革による地方への財源交付の削減、さらに世界同時不況の影響を受け、地方自治体の財政状況が悪化をたどる中で、各議員、英知を発揮され市民の負託に努力された事は、大いなる評価に値するものと存するところであります。

今後は、我が甲賀市が、先人の尽力の賜物である新名神を最大に生かした施策により、大きく発展し、その経済効果により、市民がより心豊かに暮らせるまちへと、大きくジャンプすることを祈念いたします。

## 副議長 伴 資男

甲賀市議会第2期の後半の2年間、副議長に就任して早や任期満了を迎えます。この間皆様方のご理解とご協力により無事職務を全うすることができ、心から感謝申し上げます。

微力ながら、議長とともに、また厳しい財務状況下で、「みんながつくる・住みよさと活気あふれるまち」の実現に向けて、市議会としての役割をしっかりと認識し執行部との緊張感を保ちながら議会活動に取り組んでまいりました。

しかしながら合併5年を迎える今の甲賀市は、米国の金融危機から発した世界的経済危機等で大変厳しい環境にあります。市長施策の「共感できる共生社会の実現」をめざし、市民の負託に応えるべく、透明性で開かれた議会の早期確立を念じ、退任の言葉いたします。

### 関する協議

◆市町村議会議員公務災害補償等組合を組織する地方公共団体の減少に伴い、規約の変更に関する協議

(以上、7件、全員賛成にて可決)

### 議員提案の条例改正

◆市議会委員会条例の一部改正 (提案〓岩田孝之)

(全員賛成にて可決)

### 意見書

◆核兵器廃絶を求めるオバマ演説に関する意見書 (提案〓安井直明)

(賛成多数にて可決)

◆学童保育の充実に関する意見書 (提案〓安井直明)

(賛成多数にて可決)

◆生活保護における「母子加算」の復活を求める意見書 (提案〓山岡光広)

(賛成多数にて可決)

◆反対討論〓加藤和孝

### 賛成討論〓安井直明

(賛成少数にて否決)

◆父子家庭にも児童扶養手当の支給を求める意見書 (提案〓山岡光広)

(賛成少数にて否決)

◆日米の自由貿易協定(FTA)交渉の中止を求める意見書 (提案〓小松正人)

(賛成少数にて否決)

◆米価暴落に歯止めをかける緊急米価対策を求める意見書 (提案〓小松正人)

(賛成多数にて可決)

◆反対討論〓福西義幸

(賛成少数にて否決)

◆日米FTA断固阻止と米価の安定を求める意見書 (提案〓河合定郎)

(賛成多数にて可決)

◆反対討論〓小松正人

(賛成多数にて可決)



決算特別委員会

# 集中審査

## 経済悪化地方財政にも影響

平成20年度一般会計歳入歳出の決算認定を求める議案は、決算特別委員会で9月8日から4日間にわたり集中審査が行われました。また国民健康保険特別会計など、14の特別会計と企業会計決算は、それぞれ所管する常任委員会に付託され、収納状況や予算執行にあたっての問題点、今後の市政に生かすべき課題等について、慎重に審査しました。

### ●歳入の特徴

区分	20年度 (A)		19年度 (B)		比較増減額 (A) - (B)	対前年度比
	決算額	構成比	決算額	構成比		
市 税	14,330,625,380	43.45	14,506,396,831	42.57	△175,771,451	98.79
分担金及び負担金	47,883,803	0.14	58,464,456	0.17	△10,580,653	81.90
使用料及び手数料	1,055,976,766	3.20	1,031,811,100	3.03	24,165,666	102.34
財 産 収 入	85,424,426	0.26	64,106,128	0.19	21,318,298	133.25
寄 附 金	21,619,021	0.07	19,296,748	0.05	2,322,273	112.03
繰 入 金	1,026,769,866	3.11	522,703,046	1.53	504,066,820	196.43
繰 越 金	543,725,447	1.65	892,793,804	2.62	△349,068,357	60.90
諸 収 入	1,340,196,213	4.06	1,747,432,633	5.13	△407,236,420	76.70
小 計	18,452,220,922	55.94	18,843,004,746	55.29	△390,783,824	97.93
地方譲与税	462,791,000	1.40	469,200,000	1.38	△6,409,000	98.63
利子割交付金	50,390,000	0.15	49,539,000	0.14	851,000	101.72
配当割交付金	18,385,000	0.06	46,664,000	0.14	△28,279,000	39.40
株式等譲渡所得割交付金	6,551,000	0.02	29,500,000	0.09	△22,949,000	22.21
地方消費税交付金	770,467,000	2.34	811,250,000	2.38	△40,783,000	94.97
ゴルフ場利用税交付金	491,841,246	1.49	489,398,738	1.44	2,442,508	100.50
自動車取得税交付金	274,576,000	0.83	295,868,000	0.87	△21,292,000	92.80
地方特例交付金	174,138,000	0.53	90,026,000	0.26	84,112,000	193.43
地方交付税	5,626,525,000	17.06	5,259,577,000	15.43	366,948,000	106.98
交通安全対策特別交付金	14,531,000	0.04	15,599,000	0.04	△1,068,000	93.15
国庫支出金	2,060,350,807	6.25	1,826,323,761	5.36	234,027,046	112.81
県 支 出 金	2,142,681,159	6.50	2,265,535,314	6.65	△122,854,155	94.58
市 債	2,437,844,000	7.39	3,587,378,000	10.53	△1,149,534,000	67.96
小 計	14,531,071,212	44.06	15,235,858,813	44.71	△704,787,601	95.37
合 計	32,983,292,134	100.00	34,078,863,559	100.00	△1,095,571,425	96.79

平成20年度の一般会計は、当初予算319億5千万円に対して、補正額が24億6258万8千円増、繰越事業費8億6395万9千円を加えて352億7654万7千円。これに対して決算額は、歳入329億832

9万2134円（収納率93・5%）。歳出は、322億9236万9569円（執行率91・54%）で、差引額は、6億9092万2565円。ただし、翌年度へ繰り越す財源を引くと、実質収支額は4億7040万7565円となっています。歳入全般に占める収入済み額は、対前年と比べ

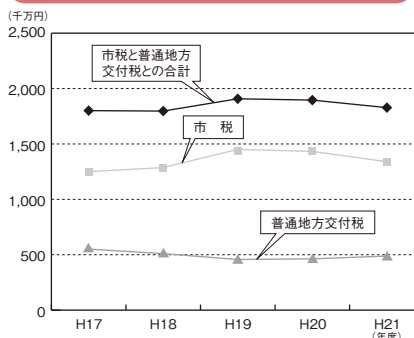
ると3・21%の減。調定額に対する収入未済額は、10億6627万569円、前年に比べて約1500万円増加しています。特に、市税の収入未済は、9億3723万1660円にもおよんでいます。

歳入における自主財源の比率は、前年に比べて0・65ポイント増加。逆に依存財源は、市債の対前年度比32・4%減額が大きく影響して、0・65ポイント減少しているのが特徴です。

歳入のなかでも法人・市民あわせて40%強の構成比を占める市税が、昨春秋以降の深刻な経済危機の影響を受けて落ち込んでいます。特に法人市民税は対前年比17・18%の減となっています。また市民税、固定資産税、軽自動車税を合わせた収入未済、いわゆる滞納額の総額は、9億3723万円余もあり、このなかには相当年

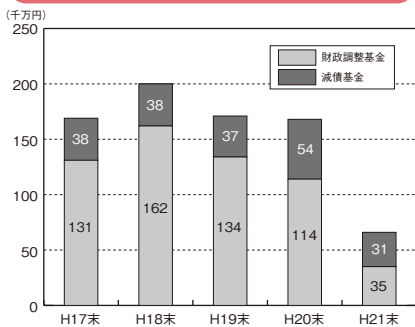
## グラフで見る 市の財政

### 市税と普通地方交付税の推移



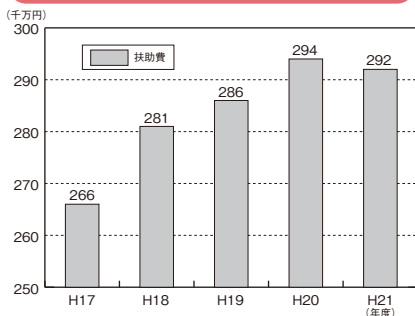
厳しい財政運営の要因の一つとなっている地方交付税は、三位一体の改革により年々減少しています。

### 財政調整基金と減債基金残高の推移



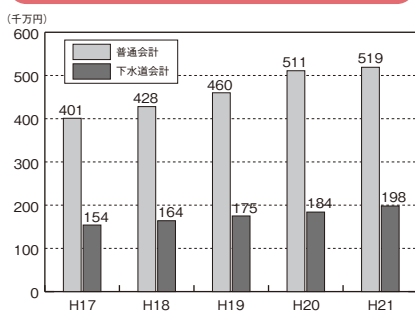
これまで、景気の後退による税収の減少や地方交付税の削減などに対し、経費の節約に取り組んできました。

### 扶助費の推移



少子化・高齢化の進展に伴い、これの対策などにより、介護保険や老人医療、児童手当、国民健康保険などの負担も年々大幅に増加しています。

### 公債費の推移



公債費は、市の借金(市債)を返済していく経費(元金や利子など)です。

# 平成20年度 一般会計決算

## 決算特別委員会委員

◎委員長 ○副委員長

- |       |        |
|-------|--------|
| ◎辻 金雄 | ○石川善太郎 |
| 林 勝彦  | 舘 藤男   |
| 藤井 克宏 | 小松 正人  |
| 加藤 和孝 | 野田 卓治  |
| 河合 定郎 | 安井 直明  |
| 白坂萬里子 | 中島 茂   |
| 中西弥兵衛 | 橋本 律子  |

# 4日間

## 歳出の特徴

項目 款別	平成 20 年度			平成 19 年度		前年比較	
	予算現額	支出済額	構成比	支出済額	構成比	増減額	比率
議会費	265,667,000	261,698,205	0.81	260,424,691	0.78	1,273,514	100.49
総務費	6,419,985,000	4,846,118,368	15.01	4,774,220,944	14.24	71,897,424	101.51
民生費	8,473,898,000	8,264,397,727	25.59	8,072,678,769	24.07	191,718,958	102.37
衛生費	3,865,253,000	3,825,144,035	11.85	4,307,883,101	12.85	△482,739,066	88.79
労働費	217,567,000	211,544,581	0.65	176,491,772	0.53	35,052,809	119.86
農林水産業費	1,426,807,000	1,385,218,486	4.29	1,967,009,026	5.86	△581,790,540	70.42
商工費	512,177,000	376,651,097	1.17	408,663,167	1.22	△32,012,070	92.17
土木費	3,328,237,000	2,919,440,867	9.04	3,119,844,974	9.30	△200,404,107	93.58
消防費	1,255,367,000	1,215,309,593	3.76	1,250,261,935	3.73	△34,952,342	97.20
教育費	4,192,681,000	3,773,953,844	11.69	4,565,294,002	13.61	△791,340,158	82.67
災害復旧費	99,261,000	88,431,882	0.27	32,101,008	0.09	56,330,874	275.48
公債費	5,124,820,000	5,124,460,884	15.87	4,600,264,723	13.72	524,196,161	111.39
予備費	94,827,000	0	-	0	-	0	-
合計	35,276,547,000	32,292,369,569	100.00	33,535,138,112	100.00	△1,242,768,543	96.29

数が経過した「過年度滞納」があります。滞納債権対策の取り組みで、過年度分も含めて収納努力がされていますが、市財政にとっては、保育料や給食費、各種使用料・手数料などをあわせると19億円にもおよびことから、その解決は緊急かつ最大の課題です。

歳出では、厳しい地方財政のなかでも、福祉医療費などに力を入れています。くすり学習館や定額給付金事業、まちづくり交付金事業などは翌年度に繰り越しとなっています。

## 目次

## 平成21年第5回甲賀市議会定例会代表質問

平成21年9月2日

順番	議席番号	氏名	会派名	質問事項
1	25番	中島 茂	甲政クラブ	1 甲賀市発足5年間の取組と22年度に向けて
				①甲賀市の財政状況について
				②今後の取組について
				③国政選挙の結果を受けて
2	1番	山岡 光広	日本共産党 甲賀市議員団	1 総選挙の結果をどうみるか
				2 合併して5年を迎える甲賀市政の課題について
				3 健康と福祉のまちづくりについて ①国保の一部負担金減免制度を ②第3子保育料の無料化の拡充、学童保育所の第2子も減免すべきではないか ③要介護認定の見直しと介護サービスの充実 ④住民健診の充実とがん検診の充実
				4 地デジ対策について
				5 環境対策としての太陽光発電システムについて
				6 農業問題について
				7 甲南駅舎改築と駅前整備について
3	23番	白坂萬里子	公明党 甲賀市議員団	1 本市を取巻く経済情勢と雇用環境について
				2 住民の自治意識の高揚と行政への参加について
				3 「スクール・ニューディール」構想の推進について
				4 新型インフルエンザへの対策は
				5 文化芸術振興の取組みについて
4	2番	林 勝彦	正政会	1 一期4年の総括について
				2 平成20年度決算について
				3 地域情報化について
				4 公民館について
5	29番	山川 宏治	清風クラブ	1 旧5町の特長を活かす街づくりと甲賀市の型づくりは
				2 古城山に岡山城の復元の夢と住民参加の発掘調査について
				3 急がれよ - 本市公用車の対応について
				4 中心市街地活性化と公立甲賀病院移転後跡地の活用について
				5 本市に於ける特別養護老人ホームの現状と今後の課題について
				6 日本の農業を売り渡すことに等しい「日米FTA」を登場させた民主党マニフェストをどう読むか
				7 地域防災の要は消防団である
				8 教育委員会組織改編について



# 各会派による 代表質問

## 甲賀市発足5年間の取り組みと22年度に向けて

### 甲政クラブ



中島 茂

**問** 甲賀市発表の「甲賀市の財政」で、平成17年から平成21年までの財政指数について公表された

内容は、歳入歳出の決算状況。市税と交付税の推移。財政調整基金の推移。少子高齢化の進展による

扶助費や繰り出し金の推移、公債費の推移がわかりやすく示された。その内容（現状）と、行政改革推進計画での財政収支見通しとの乖離を聞き、改善に向けたこれまでの

取り組みの成果と将来への見通しについても伺う。

**市長** 財源の伴わない福祉施策の権限委譲、補助金や交付金の削減。経済不況による税収減、高

サービス、低負担とされた合併調整、少子・高齢化の進行による扶助費、各特別会計への操出金、

大型事業の起債償還が始まった公債費などさまざまな要因により財政運営が厳しい状況。

財政健全化に向け行政改革大綱を策定し「定員適正化計画」に基づく人件費や各種事業の見直しにより経常経費の削減、財政健全化法に基づく「実質公債費比率」「将来負担比率」の上昇を抑え平成19年度から普通建設事業費の抑制やプライマリーバランスの黒字化へと軌道修正した。

財政収支見直しでは平成24年まで3年間10億円前後の財源不足を予測。抜本的な改革に取り組む。歳入では、滞納債権対策課を中心に徴収率の向上を図る。歳出では行政のスリム化による人件費の削減、公共施設や補助費

の見直しに着手した。公債費では「実質公債費比率」が18%を越えたため将来負担の軽減を図っていく必要がある、一般会計および特別会計、企業会計をあわせ市全体として「返す以上に借りない」ことを基本に事業の選択と集中を図る。投資的経費の削減による将来への見直しについては、現状の厳しさから経済の動向を見据えた上で慎重な取り組みが重要。

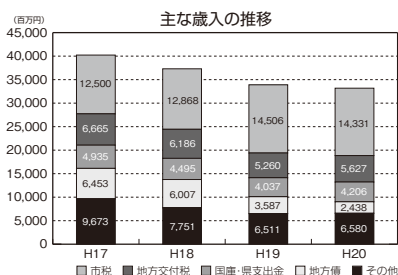
財政健全化に向け行政改革大綱を策定し「定員適正化計画」に基づく人件費や各種事業の見直しにより経常経費の削減、財政健全化法に基づく「実質公債費比率」「将来負担比率」の上昇を抑え平成19年度から普通建設事業費の抑制やプライマリーバランスの黒字化へと軌道修正した。

財政収支見直しでは平成24年まで3年間10億円前後の財源不足を予測。抜本的な改革に取り組む。歳入では、滞納債権対策課を中心に徴収率の向上を図る。歳出では行政のスリム化による人件費の削減、公共施設や補助費

の見直しに着手した。公債費では「実質公債費比率」が18%を越えたため将来負担の軽減を図っていく必要がある、一般会計および特別会計、企業会計をあわせ市全体として「返す以上に借りない」ことを基本に事業の選択と集中を図る。投資的経費の削減による将来への見直しについては、現状の厳しさから経済の動向を見据えた上で慎重な取り組みが重要。

の見直しに着手した。公債費では「実質公債費比率」が18%を越えたため将来負担の軽減を図っていく必要がある、一般会計および特別会計、企業会計をあわせ市全体として「返す以上に借りない」ことを基本に事業の選択と集中を図る。投資的経費の削減による将来への見直しについては、現状の厳しさから経済の動向を見据えた上で慎重な取り組みが重要。

の見直しに着手した。公債費では「実質公債費比率」が18%を越えたため将来負担の軽減を図っていく必要がある、一般会計および特別会計、企業会計をあわせ市全体として「返す以上に借りない」ことを基本に事業の選択と集中を図る。投資的経費の削減による将来への見直しについては、現状の厳しさから経済の動向を見据えた上で慎重な取り組みが重要。



## 代表質問

### 厳しい地方財政のなかでも福祉・くらしを守る施策を

日本共産党



山岡光広

総選挙で自民党が歴史的な大敗を喫し、民主党中心の新しい政権が誕生するも、「国政に何を期待するのか」と市長に所信を求めたほか、合併5年を迎えた市政の課題、特に財政危機とその打開の方向、「健康と福祉のまちづくり」へ施策の充実、地デジ対策、太陽光発電システムへの補助制度創設、農業問題、遅れている甲南駅舎と周辺整備について、実態調査をもとに質問した。主な質問と答弁は次の通り。

**問** 国保の一部負担金減免制度の創設を。

**市長** モデル事業により実態把握を行い、結果を検証し、より適切な運用を図っていく。

**問** 第3子保育料無料化の拡充、第2子からの学童保育料の減免を。

**市長** 現段階では更なる拡充は考えていない。学童については市の財政状況をしながら今後検討。

**問** 地デジ波受信不可の地域はどこか。受信困難地域への対応。高層建築物による受信不可は。高齢者世帯への対応は。

**企画部長** 新たな難視聴地域は、水口町今郷、甲南町上・下馬杉、希望ヶ丘本

町、甲賀町高嶺。今年度受信点の追加調査を行う。水口町さつきが丘、宇川土山町南土山、甲賀町大原市場では高層建築物による新たな難視区域がある。

**問** 太陽光発電システム設置に関する補助を。公施設に整備を。

**市長** 一定の成果があり、財政状況から18年度より廃止した。

**問** コメの輸入自由化と日米自由貿易（FTA）協定に反対の意思表示を。

**市長** 輸入増大により米価が下落している。農業団体と連携して輸入自由化に反対する声を国にあげていかなくはならない。日米FTA協定により、農業者に不利益が被ることのないよう確かな対応を求めている。

### 市内の経済動向と雇用環境は

公明党



白坂 萬里子

政府は、中小企業の融資、エコポイント制度、エコカー減税、定額給付金、高速道路料金引下げなどの経済対策を行ったが、本市における経済動向をどのように分析しているのか、また一段と厳しくなった雇用環境について現状認識と今後の見通しについても見解を求めた。

**問** 市政の現況や財政の現状について、市民の知る権利に配慮する事が求められるとあり、「自治意識の高揚のための講座」などを開催しては。

**市長** 市政全般にわたる市民の皆さんとの意見交換の場として、タウンミーティングの開催も視野に入れていきたい。

**問** 「スクール・ニューディール」構想の推進について園や学校の耐震化の進捗状況と学校への太陽光発電導入拡大を伺う。

**教育長** 市内小中学校の耐震化については、最優先課題として取り組み、現在92・7%で、太陽光パネルの設置については、限られた期間での事業実施であるため、その活用は難しいものと考える。

**問** 緊急雇用創出事業における事業別成果は。

**市長** 26事業について県の採択を受けており、事業着手している事業は21事業で56人を雇用している。

**問** 市政の現況や財政の現状について、市民の知る権利に配慮する事が求められるとあり、「自治意識の高揚のための講座」などを開催しては。

**総務部長** 水口医療センター、信楽中央病院、甲賀病院等で保有しているが、蔓延期のための備蓄する薬も途絶えることのないよう、国・県に対策を求めている。

**問** 重症化のリスクのある人へのベッドの確保や医療体制は。

**病院事務部長** 新型インフルエンザ拠点病院の甲賀病院と紫香楽病院において、重症患者に対する入院受入を行い適切な医療の提供を行う。

他に文化芸術振興についても質問した。





代表質問

平成20年度決算と地域情報化について

正政会



林 勝彦

**問** 市民、職員と何を協働してきたか。

**市長** 行政が専ら公共を担当するには限界が生じ、市民や企業、行政、それぞれが担うべき部分を分け持ち、よりよい社会をつくっていく考え方で、当市では「協働のまちづくり懇話会」を設置し、認識を共有しながら、市民皆さんと共に汗を流し、喜びを共感し合える風土を守り育てていくよう努めた。

**問** 平成20年度決算について。

**市長** 平成20年度から枠配分方式に取り組み、「稼ぐ・削る・守る」の推進による行政サービスの向上につながってきていることは大きな成果である。反面、年度途中での大きな社会変化への対応や単

年度での判断に限界がある。政策枠などの財源確保の課題も残っている。今後も様々な研究を重ね、さらに市民のために生きた予算となるよう、よい方法を探っていく。

**問** 地域情報化中間報告に、どのように対応しているか。

**市長** 「地域情報基盤整備に関する提言」をいただき、内部検討を経て、大手ケーブル通信業者と協議、本年3月「公設民営案」での提案であり断念した。現在、市と大手通信事業者、市内ケーブル通信事業者を交えた3社協議を重ねている。

**問** 公民館の利用が不便になっているが、どのように考えているか。

**教育部長** 公民館は類似施設を含め、22館あり、



利用者の不満が多い公民館運営

1万数千人から4百人程度を対象とした小さな公民館まで様々である。平成20年2月に社会教育委員の会議において「公民館の運営・整備の充実と活性化」と「教育人材バンクの運用と活用」について提言があり、公民館のあり方について、検討を始めた。生涯学習の拠点として、利用者のニーズを把握しながら管理運営方法等の検討を進める。

旧5町の特徴を活かした街づくり

清風クラブ



山川 宏治

**問** 旧5町の特長を活かす街づくりと甲賀市の型づくりとは。

**市長** 商工業や農産業など多岐にわたる取り組みが考えられる。水口・土山地域では、東海道宿場町を、甲賀・甲南地域では甲賀忍者や郡中惣を、信楽地域では焼物や宮跡等、3地域のコンセプトを活かした連結によるまちづくりを進める。新名神高速道路の3箇所のインターチェンジを動線としたエリアを結ぶ観光振興に取り組んでいく。忍者を市全体の象徴とし、古城山の復元、芸能文化の創出。市民が共有の核となるシンボルを発信基軸とした市全体のまちづくりを図る。情報の一元化や「神社仏閣めぐり」等歴史文化遺産を活かし

た観光ルートの振興等進めていく。

**問** 古城山に岡山城の復元の夢と住民参加の発掘調査について。

**市長** 全容解明に向け「岡山城」の発掘調査が開始できるよう検討する。市民と共に、郷土の歴史文化への関心と愛着を深め歴史資源を活かしたまちづくりを進めていく。



**問** 中心市街地活性化と公立甲賀病院移転後の跡地の活用について、建物と土地の活用等、老健施設、診療所、物産品展示場所、ミ二道の駅等の設置を要請する。

**市長** 地域の代表者や学識経験者等から新たな病院跡地検討会を早期に立ち上げるよう申し出をする。既存施設の一部を活用した老健施設や診療所の設置は移転後の甲賀病院との地域医療提供体制の役割や既存施設の耐震性などを検証し、住民の意見も聞き調整していく。

このほか、日本農業を売り渡すことに等しい日米FTAを登場させた民主党マニフェストをどう読むか。教育委員会組織改編については、市長部局と教育委員会部局の事務分けと職員配置に検討する考えは、あるのか。地域防災の要は消防団である。消防のあり方などについて質問した。

## 目次

## 平成21年第5回甲賀市議会定例会一般質問

平成21年9月4日・7日

順番	議席番号	質問方法	氏名	質問事項
1	7番	一問一答	鶴飼 勲	1 待機児童解消への対応と施策について
				2 市立中学校における生徒の心の健康状態について
				3 定額給付金給付事業の現状と今後の対応について
				4 未登記土地の課税実態について
2	21番	一問一答	安井 直明	1 これでいいのか、生活保護行政の実態について
				2 県環境事業公社と旧土山町・甲賀町との約束について
				3 市の財政問題について
				4 国道、県道、市道の維持管理、補修、側溝整備等や河川の浚渫、維持管理、除草について
3	8番	一問一答	土山 定信	1 自治体自体が稼ぐ方法について
4	26番	一問一答	中西弥兵衛	1 近畿圏広域地方計画原案に係る、本市関連広域プロジェクトの位置付けについて問う
				2 国の地域活性化事業への取りくみ状況と、広域観光誘発キャンペーン事業の推進について問う
				3 新規事業「出前授業」の現状と今後の課題について問う
5	11番	一問一答	小松 正人	1 甲賀市における今後の新型インフルエンザの対策は万全か
				2 公立甲賀病院移転後の既存施設を、地域医療・福祉等の複合施設として有効活用できるよう決断を
				3 国道1号拡幅に伴う西名坂交差点のアンダーパス設置の実現を
				4 水口町春日地先の県許可施設「産業廃棄物最終処分場」の指定外区域での不法投棄物の影響について
				5 高齢者の方々に思い切った温かい施策の実施を
6	16番	一問一答	野田 卓治	1 甲賀市の財政問題について
				2 公共施設見直しの影響について問う
				3 子育て支援について
7	5番	一問一答	木村 泰男	1 甲賀市の3地形と将来への展望 ①山地地形 ②無従谷の里山 ③野洲川と杣川の河谷平野
8	13番	一問一答	加藤 和孝	1 環境美化条例の制定について
				2 太陽光発電補助制度の創設について
				3 中学校の部活動支援について
9	6番	一問一答	舩 藤男	1 甲賀市における情報化の進捗状況について
				2 幼児の保育について
				3 甲賀市の観光資源等について
10	28番	一問一答	橋本 律子	1 甲賀市総合福祉拠点について
				2 特色ある元気なまちづくり
11	27番	一問一答	岩田 孝之	1 交通安全の要望について
				2 甲賀市の未来について



# 市政を問う

11人の議員が登壇

## 一般質問

◎より詳細な内容はインターネット・甲賀市ホームページの市議会（議会中継）で本会議の様様をご覧ください。

<http://www.city.koka.shiga.jp/>

◎傍聴のご案内  
本会議は原則として公開されています。議会を傍聴することにより、市政の方針を知ったり、市議会の活動に触れていただくことが出来ます。ぜひ市議会の傍聴にお越しください。

**問** 市立中学校における生徒の心の健康状態について。

認定こども園に対する本市のビジョンについては前述の検討委員会の答申も踏まえ、地域の実情や園の実態を考慮しながら方針を決定したい。

昨年「甲賀市幼保検討委員会」を立ち上げ、甲賀市幼稚園保育園の適正規模及び民営化等に関する基本的な考え方について審議中である。

民間の活力導入も含め検討する必要があると考えている。

**市長** 今後の幼稚園・保育園のあり方について、

児童は水口地域に集中している現状に鑑み、地域間格差を是正する事が喫緊の課題と考えるがその対策は。

議員 勲 飼 鵜

**Q** 待機児童解消への対策は

**A** 民間活力も視野に入れ検討

**問** 本市における待機児童は水口地域に集中している現状に鑑み、地域間格差を是正する事が喫緊の課題と考えるがその対策は。

**教育長** 担任をはじめ、

養護教諭等様々の立場の教職員が生徒の観察を細かく行い、声かけはもちろん、全ての生徒が教員と懇談できる機会を持つ等、積極的な健康状態の把握に努めている。

相談が必要な生徒に対しては専門家が生徒や保護者と面談し今後の具体的な手立てを協議している。



日常の心の健康状態の把握が不可欠

その他に定額給付金事業の現状と今後の対応、未登記土地の課税実態について質問した。

**Q** 県公社との約束の計画は

**A** 延伸含め見直し協議を要望

安井直明 議員

**問** 市営住宅の入居条件に市税等の滞納がある場合は入居できない。設置目的からも矛盾があると考えられる。見直す考えはないか。

**市長** 見直す考えはない。

**問** クリーンセンター滋賀設置に関して、環境事業公社と旧甲賀町・土山町が覚書を結んだ。助成する地域振興事業の進捗状況はどうか。

**市長** (表のと

旧町名	事業総数	助成金総額	完了	21年度	継続	支出助成額	進捗率
土山町	22	17.43	7	1	1	8.03	46.1%
甲賀町	30	30.00	14	1	3	12.83	42.8%



**市長** 多くの要望があり、優先順位を付して国県に要望。市道法面の維持管理は、通行料やその他の条件を勘案し適切に実施。

**問** 国道、県道、市道の維持管理、法面の管理は、基本的にどう考えるか。

**市長** 多くの要望があり、優先順位を付して国県に要望。市道法面の維持管理は、通行料やその他の条件を勘案し適切に実施。

**問** サービスは高く、負担は低くはどうか。

**市長** 歳入確保が出来ず、財政運営圧迫の要因のひとつとなっている。

**問** 国道、県道、市道の維持管理、法面の管理は、基本的にどう考えるか。

おり。単位は億円)

**問** 今後の計画は。

**市長** 一般財源を伴う事業で財政が悪化傾向にあり、期間の延伸も含めた見直し協議を県に要望。

**問** 市財政悪化の根本的背景をどう考えるか。

**市長** 三位一体の改革による地方交付税の減少。

# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです

土山定信 議員

**Q** 自治体自体が「稼ぐ」とは

**A** 職員一丸となって取り組む

**問** 市長が2期目の健全財政対策としての公約として「稼ぐ、削る、守る」をキーワードとして努めたいと表明された。今回は特に「稼ぐ」について問う。どのような内容に力を入れているのか。

**市長** 3年間程度は、10億円前後の財源不足が生じる厳しい予測となっている。そのため、市税の収納率の向上や滞納整理の強化、企業誘致の推進、公共媒体への広告収入など取り組みを進めてきた。市職員全員が、コスト意識と企業感覚を養うことが必要と考えている。

**問** 財務部長として、「稼ぐ」の取り組みは。

**財務部長** 遊休地の処分や滞納に対しては、不動産等の差し押さえ等鋭意徴収に努めている。

**問** 市道等の占用料金は、回収しているのか。

**建設部長** 4870万円の収入があり、収入未済は11件である。

**問** 指定管理者制度での収益状況は。

**企画部長** 収益となっている施設は、41あり、3360万円である。

**問** 農林関係の使用料金は。

**産業経済部長** 農林関係施設は、稼ぐという観点ではないので理解してほしい。

甲賀市の長期収支 予測表 (単位: 億円)

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
歳入	281.9	284.1	285.5	289.2
歳出	291.6	294.1	293.7	290.9
収支	9.7 不足	10 不足	8.2 不足	1.7 不足

財務課資料より

**Q** 新名神の全線早期着工を推進せよ

**A** 前倒ししてでも早期に完成させる必要がある

中西弥兵衛 議員

**問** 新名神の全線早期着工の推進はどうか。

**市長** 最優先に取り組みべき社会基盤整備である。

新名神は当初予測を上回る利用があるだけに、計画も、計画を前倒ししてでも早期に完成させる必要がある。



**市長** 関西の社会資本と設の推進はどうか。

すべく、構想路線から整備路線として認知されるよう粘り強く取り組んでいく。

**問** 名神・名阪連絡道路の建設促進はどうか。

**市長** 平成11年に地域高規格道路の調査区間に指定されたが、未だに実現にむけた見通しが無い。

早期にルートや整備手法などの決定および指定を要望していく。

**問** 広域観光ルートとして、平城京・恭仁京・紫香楽宮を結ぶルートを推進してはどうか。

**市長** 市や県をこえて情報の交換や観光ルートのPRをしていきたい。また策定中の甲賀市観光振興計画のなかで、「甲賀ブランド」を創出し、世界ブランドとなるよう調査研究をすすめていきたい。

以上、国土形成計画・近畿圏広域地方計画について質問した。

小松正人 議員

**Q** 国道1号 西名坂交差点に地下道設置を

**A** 最優先して設置の協議を進める

**問** 新型インフルエンザ感染防止対策には、感染リスクの高い古城山のクラス対策が重要。どうするか。

**産業経済部長** 捕獲による減数対策とねぐら場所を分散させるための間伐、下刈り、散策路等の整備に着手したい。

**問** 新型インフル対策で水口医療センターの休止病室を整備し、短期入院治療に備えよ。また医療連携を図って民間医院の協力を求めよ。

**病院事務部長** 医療センターの本館2階の病棟60床の内、25床を確保し、患者の治療に供する予定。医療従事者の派遣は県保健所を通じ医師会に支援を求める。

**問** 公立甲賀病院の既存施設の有効活用の検討協議は



西名坂交差点をわたる市民

そのほか不法投棄、高齢者施策を質問した。最優先して設置の協議を進めたい。

**問** 進行しているか。

**市長** 跡地処分検討会は設置されていない。本年秋頃、設置される。新たな検討会の中で施設を含め総合的に判断したい。

**問** 国道1号西名坂交差点のアンダーパス(地下道)設置は実現できるか。

**建設部長** 平成17年10月、甲賀市から国道事務所へ要望書を提出した。国は歩行者、自転車の危険について現状調査している。



一般質問

Q 財政健全化の具体策は

野田卓治 議員

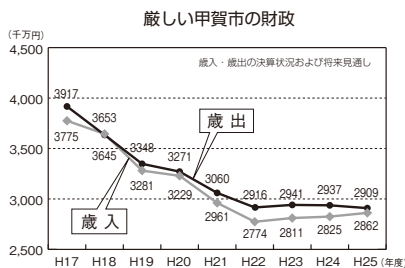
A 改革を基に剰余金を生む努力

問 甲賀市の財政問題について。

財政健全化に向けての具体策を伺う。

財務部長 税の徴収率向上と景気対策による税収見込み、定員適正化、公共施設および事務事業の見直し、公債費の抑制、投資的経費の見込みについては選択と集中による事業展開を図る。

22年度予算に与える影響については、要望など予算に反映させるべきところ、市の財源を伴うものは慎重な採択となる。3年は厳しいが、行政改



革大綱を基に取り組み、その成果として、剰余金を生み出し、市民の要望に応える。

問 公共施設見直しの影響について、市民への負担と協働について、経費削減と住民ニーズとのどちらを優先するのか、市としての考えを伺う。

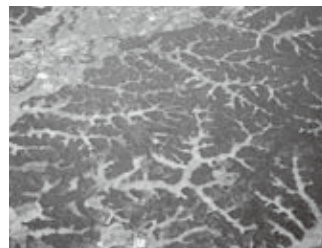
企画部長 協働という形で区、自治会やNPO、市民団体、企業等多様な主体に公共サービスの担い手としてお願いしていく。

問 子育て支援について、他市に先がけ支援を進め

木村泰男 議員

Q 甲賀市の三地形と将来への展望

A ふるさとを守り伸ばす



どう活かす無従谷の里山

甲賀市の山地、無従谷の里山、河谷平野について将来への展望を質問。

市長 森林田園ゾーン的位置付け。将来県道等の整備と合わせ、工業地の必要が生じれば環境との調和を図って調整する。

問 中山間地における農業の今後は。

市長 農業だけでなく集落全体を「まるごと保全」する必要がある。国・県の制度を有効活用し、支援に努力する。

問 国道一号線の整備は。

建設部長 水口区間は市担当者も入り用地交渉を進め早期四車線化に努力している。土山バイパスは早期事業化に向け要請中である。

問 甲南駅とその周辺整備は。

市長 甲南駅前線の計画法線の変更を行っている。市財政との調整を図り早い時期に駅前線に着手したい。

問 健全な森林とはどのような森林で誰が保つのか。

産業経済部長 間伐による保育作業の行われた森林で、森林組合の指導を得て森林所有者が実施。

問 旭川より南側の無従谷の里山と甲南インターを活かした開発は。

市長 甲南駅前線の計画法線の変更を行っている。市財政との調整を図り早い時期に駅前線に着手したい。

加藤和孝 議員

Q 環境美化条例を制定すべきでは

A 当面は環境基本条例により対応



雑草の繁茂した空地

問 環境基本条例が制定され、それに基づき環境基本計画が策定された。次は、団地などの環境保全のため、環境美化条例を制定すべきでは。

市民環境部長 太陽光発電や風力発電の導入など地域新エネルギービジョンに掲げている目標に向けて取り組む。このため、市民自らがそれぞれの方法で環境に配慮した取り組みができる施策を研究していく。

問 全国的に部活動の顧問や専門的指導者が不足し、中学校の部活動が休部や廃部になる件数が増えている。本市における休部・廃部の実態とその対応策を伺う。

教育長 廃部の検討を余儀なくされる学校が3校程度ある。地域の力を活用する取り組みは積極的に進めるべきものであることから、「部活動支援員制度」についても研究していく。

市民環境部長 環境美化条例の制定は、生活環境を維持するうえで一つの方策ではあるが、地域自治会などと連携を図りながら環境美化に取り組み、当面は環境基本条例などにより対応したい。

問 エネルギー構造のグリーン化を進めるうえで本市の取り組みを確認する。また、太陽光発電

# 一般質問



## Q 情報化の進捗状況は

拙 藤男 議員

## A 計画策定に基礎資料収集中

**問** 情報化の進捗状況は。  
**市長** 地域情報化基盤の整備は喫緊の課題であり市の将来の財政に負担を残さない事を念頭に民設民営を基本とする事業実施を推進する。

**企画部長** ユビキタスネットワーク社会の実現を旨とし国を始め関係機関との協議を行い事業化に向けた最終段階に入っている。防災や緊急通報、地デジ対応、ブロードバンド環境の整備を基軸とし福祉施設や行政の効率化も意識した取り組みを推進する。平成23年度を

目標年度としまず難視聴地域の解消に取り組み。

**総務部長** J-I-A-R-E-R Tについても甲賀市地域情報化計画に含まれており県を通じ消防庁へ要望している。

**問** 0歳児から3歳児の保育について。

**教育部長** 出来る限り家庭での愛情を十分に注いで頂き、子育てされることが何よりも重要と考えますが、核家族化や共働き家庭のお子さんの支援のため出来る限りの対応をしていきたい。

**問** ファミリーサポート事業の活動と地域での子育て支援について。

**健康福祉部長** 案内パンフレットを作成し、きめ細かな周知に努めている。子育て支援に限らず地域に必要なサービスが市内全域で進むことを希望する。



ファミリーサポート事業

橋本 律子 議員

## Q 地域福祉センターの改善を

## A 既存施設有効利用検討中

**問** 福祉基金の有効活用と甲賀市総合福祉拠点整備どうすすめるか。

**市長** 鋭意検討を重ねてきたところ。今後市の財政状況から判断し、基金を活用するとしても、新たな建設は難しく既存の施設の有効利用について進めたいと考え、有効な基金活動を検討する。

**問** 甲賀市ボランティアセンターの拠点のあり方と連携強化を図るための仕組みづくりは。

**健康福祉部長** 緊急時や非常時だけでなく、日々活動に支障があることから、地域福祉推進計画に基づき、今後検討をしたい。市民と行政との協働のまちづくりの具現化にむけコーディネーターなどによる支援機能や事務局のあり方も検討をすすめる。ボランティアの皆

様を支援することは重要。要望もあることから検討する。

**問** 特色ある元気なまちづくりどう築くか。

商工会や団塊の世代の方々との連携で、生きがい対策の推進・若者等への雇用促進につながる起業に取り組む考えは。

**産業経済部長** 市が直接開発をするのではないが産官学協働による民間の技術力・ノウハウを活用した取り組みには積極的支援する。



市民による手づくり道の駅

## Q 交通安全の要望の処理は

岩田 孝之 議員

## A 早期実現に向け働きかける

を通じて県公安委員会へ要望していくと回答している。

**問** 最近5年間の要望の実績はどうか。

**市民環境部長** 信号機要望251基のうち、16基横断歩道は312箇所のうち47箇所、一時停止は197箇所のうち33箇所が設置された。

**問** 市と警察、公安委員会との今後の連携は。

**問** 交通安全の規制要望が長年放置されている例があると聞いているが、地域へはどう回答しているのか。

**市民環境部長** 各地域からの要望は、交通規制は公安委員会に権限があることから甲賀警察署に規制設置の要望を行っており、甲賀警察署では規制が必要な箇所を取りまとめ公安委員会に上申されるが、要望内容について公安委員会からは設置の時期や順位などの回答は出来ないと聞いている。そこで地域には、甲賀警察

らに要望は、交通規制は公安委員会に権限があることから甲賀警察署に規制設置の要望を行っており、甲賀警察署では規制が必要な箇所を取りまとめ公安委員会に上申されるが、要望内容について公安委員会からは設置の時期や順位などの回答は出来ないと聞いている。そこで地域には、甲賀警察



一旦停止と横断歩道のない交差点

# 各会派別 政務調査費

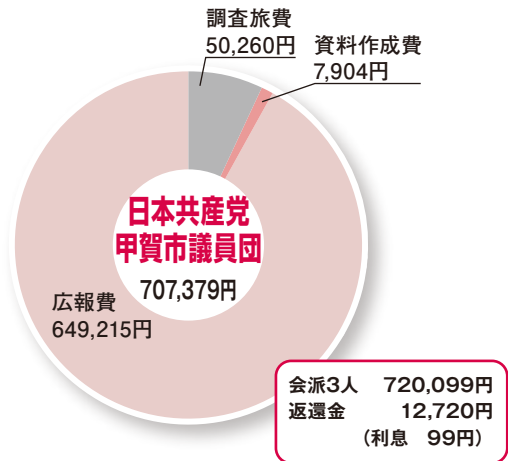
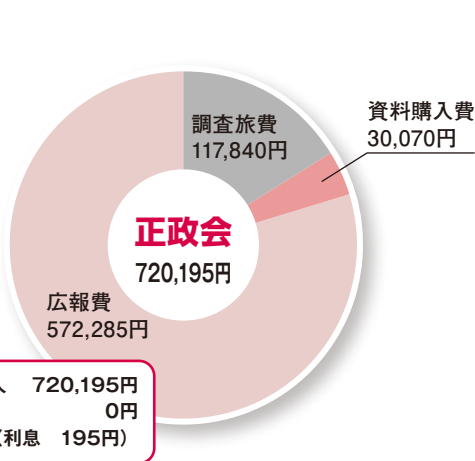
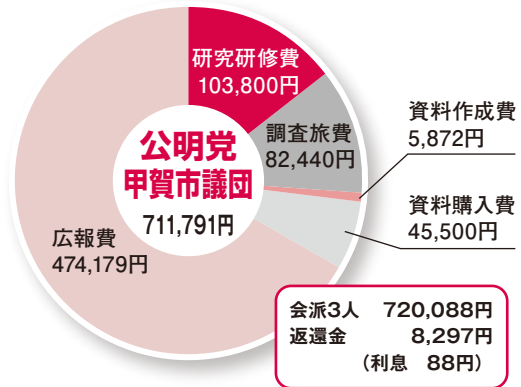
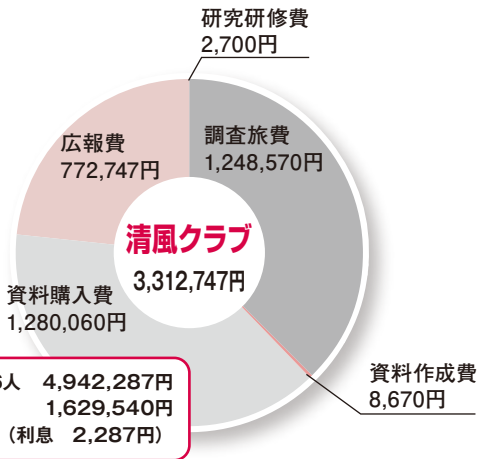
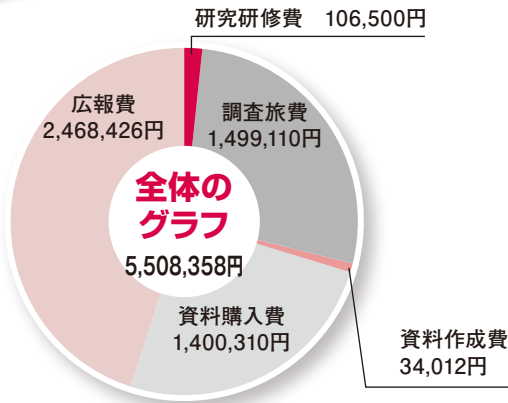
## 平成20年度使途内容公開

議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、甲賀市では平成19年度から「政務調査費」が交付されています。政務調査費は、議員一人一ヵ月2万円で、所属会派に交付し、年度末にその使途を明確にして、精算。残金は、返還するシステムです。

平成20年度の会派別政務調査費の使途を円グラフにしました。領収書は、1円単位で添付されています。円グラフの金額は、使った額です。

なお、「清風クラブ」は年度当初は21名でしたが、平成21年2月に5名が脱会し16名となりました。新しい会派「甲政クラブ」(4名)と「無所属」(1名)は、1ヶ月分のみの精算となりましたので、円グラフでは示していません。

なお、「甲政クラブ」は、交付8万円のうち54,472円を使途(資料作成に9,792円、資料購入費に44,680円)。「無所属」は、2万円の交付のうち1,774円を使途(資料作成費)となっています。



### 甲賀広域行政組合議会

し尿・ごみなど暮らしに欠かせない役割と、災害から市民を守る消防は、安心安全なまちづくりにとって、最も大切な仕事です。

これら仕事に携わる甲賀広域行政組合に願いを届け、市民の目線でチェックしてきたのが広域行政組合議会です。

### 公立甲賀病院組合議会

平成24年度開院にむけ工事はじまる。

#### ●21年度の主な事業

- ・国道1号甲賀地区交差点設置工事

#### ●22年度以降の計画

- ・造成計画測量調査設計
- ・アクセス道路の整備計画
- ・造成工事、実施設計に基づく建築工事(建築工事においては約2年半で完成の予定)



藤男 拙

毎日が勉強の4年間でした。まだまだ力不足ですが甲賀市のため頑張りたい。



鶴飼 勳

すべての皆さんに支えられ悔いなく任期を務めることが出来ました。感謝！！



土山 定信

クリーンセンター滋賀の安全と東海圏との交流に努力しました。



酒巻 昌市

地域の活性化や環境整備を推進して子供もお年寄りも安心して暮らせる街づくりを！



藤井 克宏

活力ある郷土を願って来ましたが、迫られる行財政改革の波は難題でした。



野田 卓治

市民・地域・都市の「健康」甲賀市を目指し、人・街づくりの型は出来たが活性化は「これから」。



福西 義幸

〇〇こそ、こうだ。〇〇こそ、こうすべきだ。正にこそその連続でした！！



伴 資男

合併が良かったと言える街づくりに取組んだが課題も山積。市民の為の市政を。



河合 定郎

融合の街づくりから、集中と選択、そして勇気ある決断への道しるべの4年間でした。



村山 庄衛

世の中のしくみや、ものの考え方の変化を感じながらの議員活動でありました。



中西 兵衛

政策に取り組み政策に生きるべき議員として十分な政策論議が交せず残念！



岩田 孝之

会派の代表と議運の委員長の重責を預かり、円滑な議会運営が出来たと自負。



橋本 律子

市政への厳しいチェック。市民と元気なまちづくりで夢ある甲賀の創造。女性の視点で！



山川 宏治

総務常任委員長、監査委員として常に行財政改革を提言、市民皆さんの声を反映。



服部 治男

新議員も経験議員も会派を超えて市民の幸せの為、将来の甲賀市の為頑張ってくれました。

# 甲賀市議会

# 私の4年間



山岡 光広

記者の経験生か  
しいつも市民の  
目線で要求実現  
へ全力投球。一  
歩一歩前進へ。

日本共産党



林 勝彦

厳しい財政状況  
の中、市民の目  
線で各課題に  
是々非々で取り  
組みました。

正政会



松本 昌市

議会、市民活動  
を通しさまざま  
な事を学ぶこと  
ができ有意義な  
4年間でした。

公明党



辻 重治

大好きな“甲賀  
市”今日までも、  
そしてこれから  
も、力と情熱が  
いっぱいです。

甲政クラブ



木村 泰男

高校教員から議  
員へ。この4年  
間はネットで  
「木村泰男」と  
検索願います！

無所属



小松 正人

野生動物対策はじ  
め、農業、雇用、平  
和、医療問題、生  
活相談にも力を入  
れてきました。

日本共産党



石川 善太郎

緊張感を持って、  
是々非々の観点  
と皆様の目線に  
立って活動して  
まいりました。

正政会



加藤 和孝

定例会で一般質  
問等を毎回行い、  
皆様の声を市政  
に反映させるこ  
とができました。

公明党



葛原 章年

すべての人が、輝  
ける甲賀市を実現  
させるため、皆様  
の声を市政に反映  
させてきました。

甲政クラブ



辻 金雄

あつという間の  
4年間。その間  
財政状況は予測  
以上に悪化・低  
迷を続けた。

清風クラブ



安井 直明

毎議会発言し市  
民の願い実現に  
全力。行政チェッ  
クと建設的提案  
に心がけた。

日本共産党



友廣 勇

合併後の1期4  
年、行政と議会と  
の両輪は機能し  
たか。そのスピー  
ドに課題を残す。

正政会



白坂 萬里子

皆様のご支援に支  
えられ女性の声を  
広げて参りました。  
心より感謝と御礼  
を申し上げます。

公明党



今村 和夫

地方分権下、議会が  
果すべき責任の重  
さを実感し、議会  
での発言、議員活  
動に取組ました。

甲政クラブ

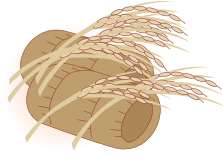


中島 茂

全力で走ってき  
た4年間、多  
くの人と共に活  
動できたこと  
を、感謝したい。

甲政クラブ

# くろぎこうか



Vol.16

## 甲賀の味

シリーズ⑧



◆大麥が材料、無添加

土山から鈴鹿峠へ向か



い飴です。原材料は、地  
黄煎おうせんという大麥の発芽を  
濃粉に作用させてつくられ

「か  
た麥芽糖100%。無添  
加だけに、口のなかに入れ  
ると、ほんのりと昔懐かし  
い味がします。」

◆温度管理が大事

厄除け祭として知られ  
る田村神社の祭礼で、買  
い求める人も少なくない  
と思いますが、この飴は、  
数百年前からこの地でつく  
られ、街道を旅する人た

うです。いまたに薪を使い、  
薪の種類によって火加減を  
変え、温度を調節します。  
煮詰まった飴は、小さなす  
りこぎのような木の棒に水  
飴を巻きつけて、ゴザの上  
に形を整えながら張りつけ  
ていきます。少し固まった  
らコテで押しつけ丸くしま  
っているのはそのためです。  
完全に固まったら、8個す  
つ竹の皮で包みます。

# ガニガバ飴

う上り坂は、「蟹が坂」  
と呼ばれています。僧都そうず  
による大蟹退治の伝説が  
民話「蟹が坂」のなかで  
も紹介されています。この  
地は、かつて山賊が出るこ  
とでも有名で、「蟹」とは、  
山賊のことだともいわれて  
います。



ちに売られていました。近  
年までは八つ割飴協同組  
合として生産販売されて  
きましたが、いまは、神社  
前に店を構える高岡孝さ  
んだけしかつくっていません。  
高岡さんによると、飴づ  
くりで一番難しいのは、飴  
を煮詰める温度管理だそ

「こんな珍しい飴。イン  
ターネットで紹介しては」  
と声をかけましたら、「こ  
れは厄除けの飴ですから  
…」と。  
繁盛期は、冬場ですが、  
高岡さんのお店のほか、道  
の駅では通年販売されてい  
ます。ぜひご賞味ください。

## 昔ながらの製法 なつかしい味

### カメラの目



滋賀県で最初に「よさこい方式」を取り入れ  
たお祭りが、「ござれGOISHU」。今年は  
11回目。江州吾頭の郷土芸能を現代風にアレ  
ンジし、囃子を手し、自由な衣装と振り付けで演  
舞する新しい甲賀の祭りです。今年は31チーム  
が参加。躍動する演舞の連続で、会場の参加者  
を魅了しました。

(写真撮影：山岡光広)



### 編集後記

▶スポーツの秋、文化芸術の秋、読書の秋、食  
欲の秋、実りの秋、様々な活動の秋となりました。  
楽しみもいっぱいです。

私たち議員には改選という正念場の秋にな  
ります。今回の議会だよりが私たち30人の任期  
最後の議会報告です。市民の皆さんに少しで  
も多く議会の活動をお伝えしようと頑張ってき  
ました。この10月の改選により定数も27人とな  
り議員の役割はより重要になってきます。

今議会の決算審査が甲賀市の明るい将来に  
つながりますよう期待します。

(広報特別委員 舂 藤男)